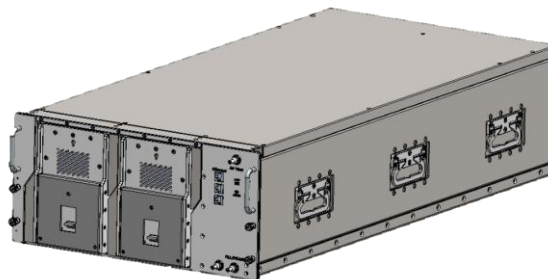


会社名 ニデック株式会社
代表者名 代表取締役社長 岸田 光哉
取引所 東証プライム (6594)
所在地 京都市南区久世殿城町 338
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 渡邊 啓太
電話 (075) 935-6150

最大 300kW の冷却能力を備えた In-Rack CDU を開発

～生成 AI モデルの高度化に伴うデータセンターの熱密度上昇に対応～

ニデック株式会社（以下、当社）は、生成 AI の普及に伴うデータセンターの熱負荷上昇に対応するため、**最大 300kW の冷却能力を有する In-Rack CDU^{*1} のプロトタイプを開発いたしました**。本製品は、業界トップクラスかつ、当社の In-Rack 型製品において最大の冷却能力を備えており、2026 年 6 月 10 日(水)から幕張メッセで開催される「Interop Tokyo 2026」にて、初公開いたします。



製品イメージ図

近年、生成 AI の高度化により、サーバー発熱量は加速度的に増大しており、データセンターにおけるサーバーラックあたりの熱密度も急上昇しています。これに伴い、冷却システムにはこれまで以上に高い冷却能力が求められています。こうした市場要求に対応するため、当社はラック内部へ実装可能でありながら、最大 300kW の冷却能力を提供する新型 In-Rack CDU を開発いたしました。本製品の導入により、データセンター事業者やサーバーメーカー等のお客様は、高発熱な AI サーバーの実装と安定稼働を両立することが可能となります。

本製品の特長

1. 最大 300kW の優れた冷却能力

・最大 300kW の冷却能力を備え、高発熱 AI サーバーの実装と安定稼働を支える高い冷却パフォーマンスを提供。

2. 高度なモニタリング機能による高い信頼性

・内部および外部に配置された漏水センサーに加え、温度・圧力・流量・液位のリアルタイムモニタリング機能を搭載。
・万が一の異常発生時にも速やかに検知・通知し、データセンターの安全かつ安定した運用に貢献。

3. OCP 規格をはじめとする多様なラック仕様への適合

・OCP ORV3 規格ラックへの適合に加え、業界標準の各種ラックシステムとも高い互換性を確保。
・既存のインフラを活用した段階的な液冷化改修から、次世代 AI データセンターの新規設計まで、多様な環境へ柔軟に導入可能。

今後は、展示会来場者やお客様の声を参考に、最新の半導体に対応する液冷ソリューションとして、2027 年 第 1 四半期の量産開始を目指します。

*1 CDU : Coolant Distribution Unit の略。